

各学校におかれましては、一人一台端末を各教科等で活用いただきながら、効果的な活用に向けて実践を重ねていただいております。今回は、小中連携のための Classroom の活用とミニ研修講座「一人一台端末活用の充実」についてお知らせいたします。

## ★外国語小中連携 Classroom の活用について【授業動画の投稿】

8月より、各中学校区等の小中学校で連携いただけるように、外国語小中連携 Classroom を開設いたしました。小学校の中学年以上の先生方をはじめ、中学校外国語科の先生方、研修担当の先生方、教務担当の先生方、校長先生、教頭先生にも参加いただいているところです。

まだ Classroom に入室されていない先生方には、各学校でもお声掛けいただき、入室をお願いします。

今回は、鳥取西小・鶴野小・鳥取西中学校校区で授業動画を共有いただいた事例をご紹介します。

### 12小中外国語連携2022 (鳥取西中・鳥取西小・鶴野小)



指導計画や教材・ワークシート等も Classroom で共有することが可能です。



本日は外国語巡回指導ありがとうございました。

本日の授業について動画をアップしますので、ご覧いただければ、と思います。



VID\_20220908\_102717.mp4  
動画



授業動画について、コメントを交流することで、授業改善にもつなげることができます。

## ★釧路教育研究センターミニ研修講座「一人一台端末活用の充実」について

釧路教育研究センター学習指導・研究開発グループのメンバーが企画運営をし、市内小中学校の先生方20名が参加した本講座では2つの演習を行いました。1つ目は、小学校第4学年社会科「水はどこから」の単元導入時における Google Jamboard の活用、2つ目は、中学校第3学年英語科「Haiku in English Read and Think2」の単元終末時の言語活動場面における Google スライドの活用についてです。これらの演習は、端末の操作研修のみではなく、先生方が児童生徒の立場になって模擬授業を受けながら、端末の効果的な活用について考えられるように実施しました。



参加者からは「実践事例をもっと知りたい」という感想が多く寄せられました。釧路教育研究センター学習指導・研究開発グループでは、今後も実際の授業に即した端末の効果的な活用方法を検討しながら、情報活用能力体系表の作成を行っていきます。